

第58期中間事業報告書

平成15年4月1日から平成15年9月30日まで



DAITO CHEMIX

r100

※紙製は率100%再生紙を使用しています



地球環境に配慮した大豆由来のインクを使用しています

ダイソーケミックス株式会社

企業理念

わたしたちは

「快適でより豊かな社会づくり」
を合言葉に
「一步先をゆく、スペシャリティ・
ファインケミカルメーカー」
をめざします。

そのために

「グッドマインド」
「グッドパートナー」
「グッドテクノ」
を大切にしてください。

株主の皆様には、ますます
ご清祥のこととお喜び申しあ
げます。

平素は、あたたかいご支援
をいただきまして、厚くお礼
申し上げます。

ここに当社の第58期中間期
(平成15年4月1日から平成15
年9月30日まで)の決算を終
了いたしましたので、事業の
概況をご報告するにあたり、
ご挨拶申し上げます。



代表取締役

村瀬千弘

さて、当中間期のわが国経
済は、米国経済の緩やかな回
復基調や中国向け輸出と民間設備投資の持ち直しなどを足
がかりに底離れの局面を迎えているものの、デフレ傾向か
らの脱却には至らず、雇用情勢も依然厳しい状況が続いて
おります。

このような状況の中で当社は、前期からスタートいたし
ました国際競争に生き残れるコスト構造への転換を図る
「再生プラン」を達成すべく、営業活動に全力を挙げると
ともに、感光性材料・写真材料・医薬中間体の新製品開発
に積極的に取り組みました。また引き続き、製造原価の低減、
経費の削減、原料価格の値下げなどに鋭意努力いたしました。

この結果、当中間期の売上高は、写真材料およびその他
化成品が増加したものの、感光性材料および医薬中間体の
減少をカバーできず、前年同期比4.6%減の64億12百万円
となりました。

経常利益は、厳しい経済環境を反映し、販売価格の値下
がりが大きく影響して、原料価格の値下げや経費の削減な
ど鋭意努力いたしましたが、前年同期比64.1%減の72百万
円となりました。

中間純利益は 前年同期比74.5%減の26百万円となりました。

なお、企業活動の基盤整備の一環として、全工場で「ISO9002」を認証取得しておりましたが、本年6月に全社で「ISO9001(2000年版)」への移行審査が完了し、品質保証体制をより強化いたしました。また、すでに全工場および本社で「ISO14001」を認証取得いたしました。今後とも、地球環境保護を積極的に推進していくことを基本にPRTT対応、使用資源の削減、回収、再資源化に全社を挙げて取り組んでまいります。

品目別の状況は次のとおりであります。

[感光性材料及び印刷材料]

半導体用感光性材料は、IT不況からの回復が一段落したことに加え、主力のg線・i線用材料の価格競争の激化により、販売数量、売上ともに減少いたしました。

エキシマ用材料は、次世代最先端用感光性材料の新製品開発は順調にすすんだものの、KrF用材料の値下がりや世代交代のずれ込みにより、売上が減少いたしました。

液晶用材料は、価格低下の影響はありましたが、各種モニターへの液晶表示採用や家庭用液晶テレビが一般普及し始めたことにより、販売数量、売上ともに増加いたしました。

印刷材料は、販売数量、売上ともに僅かながら減少いたしました。

この結果、当品目の売上高は、前年同期比16.7%減の25億98百万円となりました。

[写真材料及び記録材料]

写真材料は、デジタルカメラ普及の影響を受け、従来型の写真材料、インスタント写真向け材料が減少いたしました。しかしながら、新製品や汎用品の販売拡大に注力したことにより、ディスプレイ用材料の販売数量が大幅に増加し、また、新現像方式向け製品も僅かに増加した結果、売

上は大幅に増加いたしました。

記録材料は、ジアゾ感熱材料の減少があり、販売数量、売上ともに減少いたしました。

この結果、当品目の売上高は、前年同期比16.6%増の26億45百万円となりました。

[医薬中間体]

医薬中間体は、主力製品の一部においてユーザーの在庫調整が長引いたため、売上は大幅に減少いたしました。新製品開発は、福井工場内の医薬試作工場の本格稼働により、計画を上回る成果を上げましたが、主力製品の売上減少をカバーするには至りませんでした。

この結果、当品目の売上高は、前年同期比31.3%減の4億61百万円となりました。

[その他化成品]

架橋剤は、繊維改質材料の用途拡大が図られたことにより、売上が大幅に増加いたしました。

その他一般化成品は、IT関連品の売上が僅かながら増加いたしました。

この結果、当品目の売上高は、前年同期比6.7%増の7億7百万円となりました。

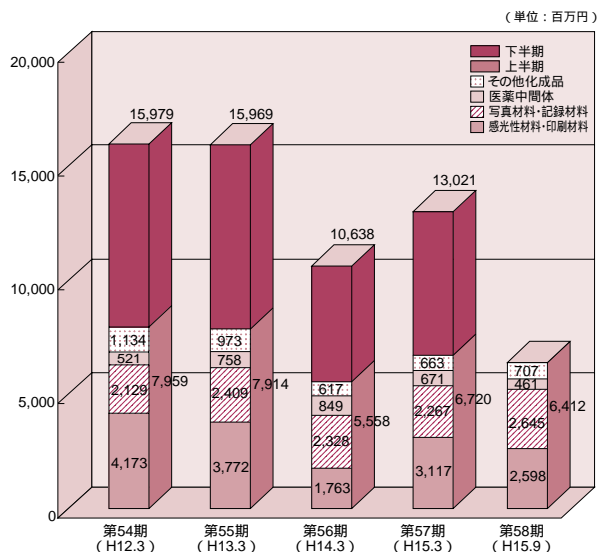
なお、染料は、平成14年8月1日に発表しましたとおり、平成15年9月30日をもって事業撤退をいたしました。

以上、第58期中間期の概要をご報告いたしました。前期からスタートいたしました「再生プラン」の施策を着実に実行し、業績回復に向け全社一丸となって取り組んでおりますので、株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

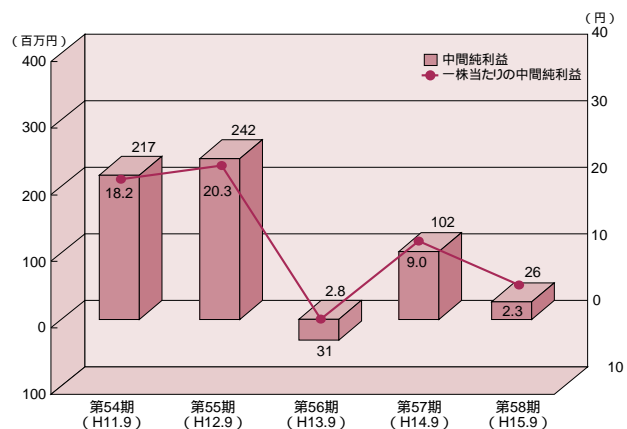
平成15年12月

業績の推移と主な経営指標

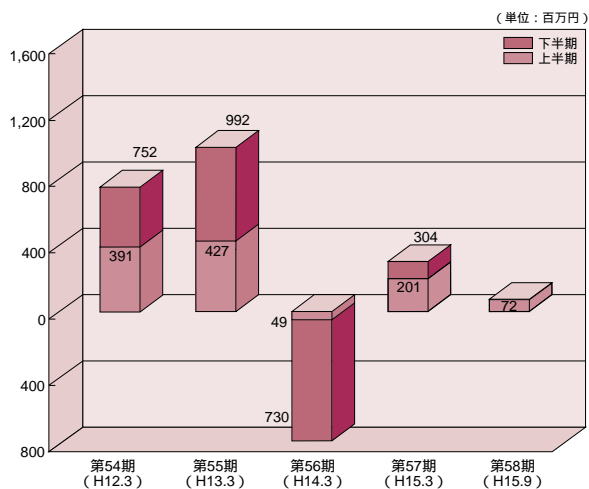
品目別売上高



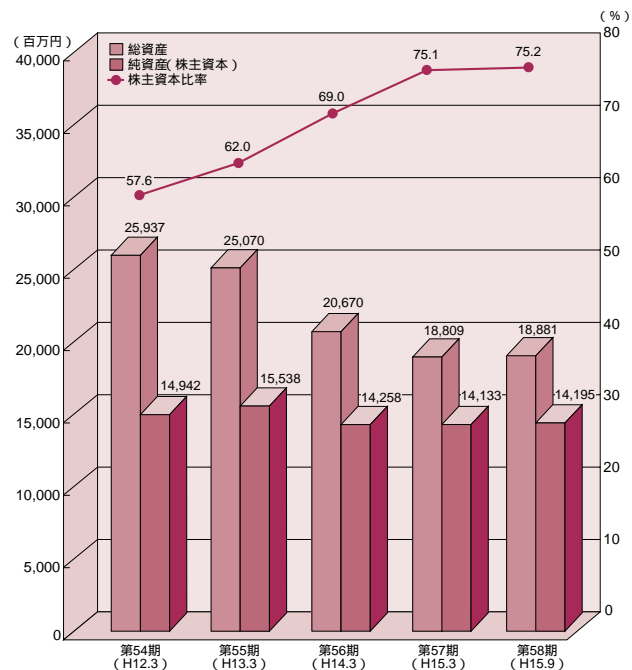
中間純利益・一株当たりの中間純利益



経常利益



総資産・純資産・株主資本比率



中間貸借対照表

(単位：百万円)

科目	期別	前中間期	当中間期	前期
		平成14年9月30日現在	平成15年9月30日現在	平成15年3月31日現在
(資産の部)		(19,577)	(18,881)	(18,809)
流動資産		8,610	8,198	7,995
現金及び預金		2,569	1,541	1,629
受取手形		659	16	195
売掛金		1,527	2,305	2,493
有価証券		-	499	18
たな卸資産		3,367	3,380	3,274
繰延税金資産		198	231	197
その他		286	223	186
固定資産		10,966	10,682	10,813
有形固定資産		9,710	9,350	9,563
建物		2,940	2,714	2,799
機械及び装置		3,092	3,054	3,017
土地		2,427	2,427	2,427
建設仮勘定		223	194	362
その他		1,025	959	956
無形固定資産		83	66	76
投資その他の資産		1,173	1,265	1,173
資産合計		19,577	18,881	18,809
(負債の部)		(5,234)	(4,685)	(4,675)
流動負債		2,502	2,581	2,031
買掛金		685	919	666
短期借入金		740	640	190
未払金		427	413	585
賞与引当金		311	266	281
その他		338	342	307
固定負債		2,731	2,103	2,644
長期借入金		2,682	2,041	2,587
その他		49	62	57
(資本の部)		(14,343)	(14,195)	(14,133)
資本金		2,901	2,901	2,901
資本剰余金		4,421	4,421	4,421
利益剰余金		7,464	7,406	7,413
(うち中間(当期)純利益)		(102)	(26)	(85)
その他有価証券評価差額金		105	124	29
自己株式		549	657	631
負債・資本合計		19,577	18,881	18,809

中間損益計算書

(単位：百万円)

科目	期別	前中間期	当中間期	前期
		自平成14年4月1日 至平成14年9月30日	自平成15年4月1日 至平成15年9月30日	自平成14年4月1日 至平成15年3月31日
(経常損益の部)				
営業損益の部				
売上高		6,720	6,412	13,021
売上原価		5,681	5,629	11,146
売上総利益		1,038	783	1,874
販売費及び一般管理費		791	716	1,502
営業利益		246	67	371
営業外損益の部				
営業外収益		63	81	126
営業外費用		108	76	193
経常利益		201	72	304
(特別損益の部)				
特別利益		3	2	3
特別損失		17	22	118
税引前中間(当期)純利益		188	52	189
法人税、住民税及び事業税		7	7	13
法人税等調整額		78	18	90
中間(当期)純利益		102	26	85
前期繰越利益		278	353	278
中間配当額		-	-	33
中間(当期)末処分利益		380	379	329

中間貸借対照表 注記

- 記載金額は百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。
- 有形固定資産の減価償却累計額 19,835百万円
- 担保に供している資産
 - 有形固定資産 1,386百万円
 - 投資有価証券 27百万円
- 保証債務残高 1百万円

中間損益計算書 注記

- 記載金額は百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。
- 1株当たり中間純利益 2円37銭

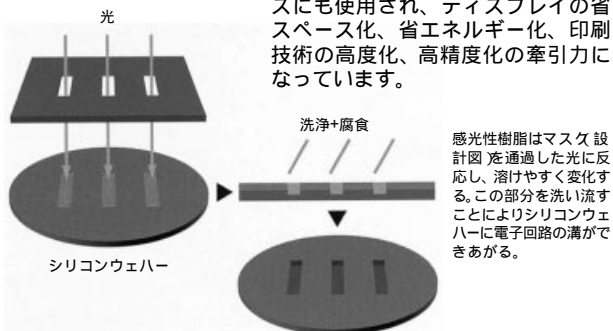
製品紹介

感光性材料及び印刷材料

半導体製造工程の超微細加工の段階において用いられるのが感光性樹脂です。その感光性樹脂の製造に不可欠な材料として当社の製品が使われており、シリコンウェハーに投影される設計図のパターン映像（光）に反応し、電流が流れる溝を掘る役割をしています。

現在、半導体の高集積化が加速する中で、汎用IC向け感光性材料はすでに量産体制を整えておりますが、引き続き、最新の高速メモリ、システムLSIや高速CPU向けの次世代用感光性材料の開発に取組んでおり、平成15年5月には量産体制を整えました。

この感光性材料は液晶ディスプレイの製作や印刷物の原版作成プロセスにも使用され、ディスプレイの省スペース化、省エネルギー化、印刷技術の高度化、高精度化の牽引力になっています。



医薬中間体

医薬分野は、感光性材料・写真材料に次ぐ第3の事業の柱として、積極的に育成しています。

静岡工場では医薬品製造許可を取得し、医薬中間体から原薬（バルク）までの生産体制を確立しております。

福井工場においても、医薬中間体工場に引き続き医薬試作工場を本格稼働させております。現在、国内外の大手有力医薬メーカーとの取引拡大を進めており、強力な事業展開を図っています。



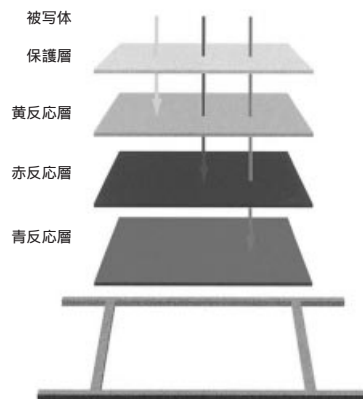
写真材料及び記録材料

写真のカラーフィルムにはフィルムベースの上に、光に感応し色を再現するための何層もの薬品が塗布されています。この技術は、インスタント写真やデジタルカメラのアウトプットなどカラープリンターの材料にも活かされています。大きく分けると、黄、赤、青の3原色に感光する3層。当社の技術が活かされている高性能の写真材料も、この感光層に含まれています。

また、現在、高性能化・環境保護へ対応した映画用フィルムやデジタル医療用レントゲンフィルムの製造にも、この塗布技術が活かされており、当社は、分散型写真材料の量産化技術を導入し対応しています。

さらに、ディスプレイ用材料の供給体制を整えるなど、さまざまな分野でも着実に実績を上げています。

記録材料においては、ジアゾコピーの技術を高度に応用した感熱システムに当社の材料が用いられています。



カラーフィルムの感光層は最低3層、実際は高性能化のために補助層を含めて10層以上塗布されている。1層の厚みは、1~2ミクロンである。

トピックス

福井工場に医薬中間体生産設備増強

福井工場第1工場内に約3億円の予算で、医薬中間体の開発品生産を目的に設備を増強し、医薬部門の売上拡大を図ってまいります。

なお、完成予定は平成15年12月です。

染料事業からの撤退完了

平成14年8月1日に「繊維用途の分散染料およびナフトール染料」の染料事業から撤退を発表して以来、永きにわたってお取引をいただいたユーザーの皆様のご理解を得て、平成15年9月末をもちまして無事撤退を完了いたしました。

「ISO9001」への移行完了

当社は全工場で「ISO9002」を認証取得しておりましたが、本年6月20日全社で「ISO9001(2000年版)」への移行審査が完了し、品質保証体制をより強化いたしました。



会社の概況

(平成15年9月30日現在)

商号	ダイトケミックス株式会社 (英文名：Daito Chemix Corporation)
本社所在地	大阪市鶴見区茨田大宮三丁目1番7号
設立	昭和24年12月2日
資本金	2,901,163,150円
社員数	293名
主な営業品目	感光性材料、写真材料、医薬中間体、印刷材料、記録材料、その他化成品
事業所	東京営業所 東京都中央区日本橋人形町二丁目15番1号 大阪工場 大阪府大東市諸福八丁目3番11号 大阪市鶴見区茨田大宮三丁目1番7号 静岡工場 静岡県小笠郡大東町浜野3110 福井工場 福井県福井市石橋町31字118



大阪工場



静岡工場



福井工場

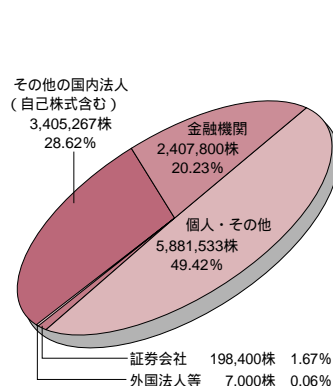
役員

(平成15年9月30日現在)

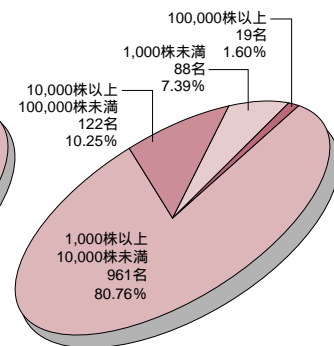
取締役	代表取締役	村安	瀬田	千弘	弘稔
取締役	取締役	入岡	岡宮	修一	一士
取締役	取締役	小宮	宮	希士	士
監査役	常勤監査役	山越	中智	俊彦	彦三
監査役	監査役	桑原	原	賢三	三豊
監査役	執行役員				
執行役員	社長	村安	瀬田	千弘	弘稔
執行役員	役員	入岡	岡宮	修一	一士
執行役員	役員	小宮	宮	希士	士
執行役員	役員	内村	田村	光俊	則郎
執行役員	役員	福二	宮	榮規	規

(工場部門統括、再生推進室担当)
 (営業部長、技術開発部門担当)
 (総務部長)
 (QA・RC推進部長)
 (静岡工場長)
 (経理部長)

所有者別 株式分布状況



所有株数別 株主分布状況



株式の状況

(平成15年9月30日現在)

会社が発行する株式の総数	47,900,000株
発行済株式の総数	11,900,000株
株主数	1,190名
大株主	

株主名	所有株式数	議決権比率
ダイトーケミックス社員持株会	631 千株	5.83 %
株式会社三井住友銀行	543	5.01
東京応化工業株式会社	522	4.82
住友商事株式会社	503	4.64
日本生命保険相互会社	499	4.61
株式会社新生銀行	482	4.45
竹中一雄	475	4.39
富士写真フイルム株式会社	439	4.05
住友生命保険相互会社	317	2.93
農林中央金庫	247	2.28

株主メモ

決算期	3月31日
定時株主総会開催時期	6月
株主確定日	
定時株主総会	3月31日
利益配当金	3月31日
中間配当金	9月30日
(そのほか必要があるときは、あらかじめ公告いたします。)	
公告掲載新聞	日本経済新聞

(注)当社は前期より決算公告を下記の当社ホームページに掲載しております。
<http://www.daitochemix.co.jp/corp/corp/profil/profil.htm>

名義書換代理人	東京都千代田区丸の内一丁目5番1号 東京証券代行株式会社
同事務取扱場所	TEL: 03 - 3212 - 4611 (代表) 大阪市中央区北浜三丁目5番29号 東京証券代行株式会社 大阪営業所
同取次場所	TEL: 06 - 6231 - 1347 (代表) 東京証券代行株式会社 本店および 全国各取次所
インターネットホームページアドレス	http://www.daitochemix.co.jp
上場証券取引所	株式会社大阪証券取引所 市場第2部
証券コード	4366